

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

## ようこそ！ りんごの里へ

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 <small>あおもりし</small> 青森市 <small>ほんごうびー</small> 本郷 B			
協定面積 2.7ha	田	畑 (100%) りんご	草地	採草放牧地
交付金額 31万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費		16 %
		体制整備に関する活動経費		5 %
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		28 %
その他(事務費等)		1 %		
協定参加者	農業者 3人			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は青森市浪岡地区南部に位置し、りんごの生産が盛んな土地であるが、山間部に位置しており、担い手の高齢化による労力不足により耕作放棄地が増加していた。

耕作放棄地にはりんご園が隣接しており、病害虫の発生を防ぐためにも耕作放棄地の管理を行うとともに、都市住民との交流、将来の地域の農業を牽引する認定農業者等担い手や後継者の育成により、持続可能な農業と地域の活性化を目指すこととした。

### 3. 取組の内容

農林漁業体験民宿業の許可を得て、首都圏や関西圏から中高生を中心とした農家民泊を受け入れるとともに、協定農用地の一部を体験農園とし、民泊者によるりんご収穫体験等を行い、都市住民との交流を推進している。

また、耕作放棄地の発生防止に向け、担い手の育成が急務であることから認定農業者を2名確保するとともに、青森市特産である黒房すぐり(カシス)を園地等に植栽したほか、協定参加者全員がエコファーマーを取得し、堆きゅう肥の施用や病害虫対策としての交信かく乱剤使用により化学肥料・農薬の低減を図っている。



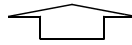
急傾斜の協定農用地



高校生によるりんご収穫体験

[ 集落の将来像 ]

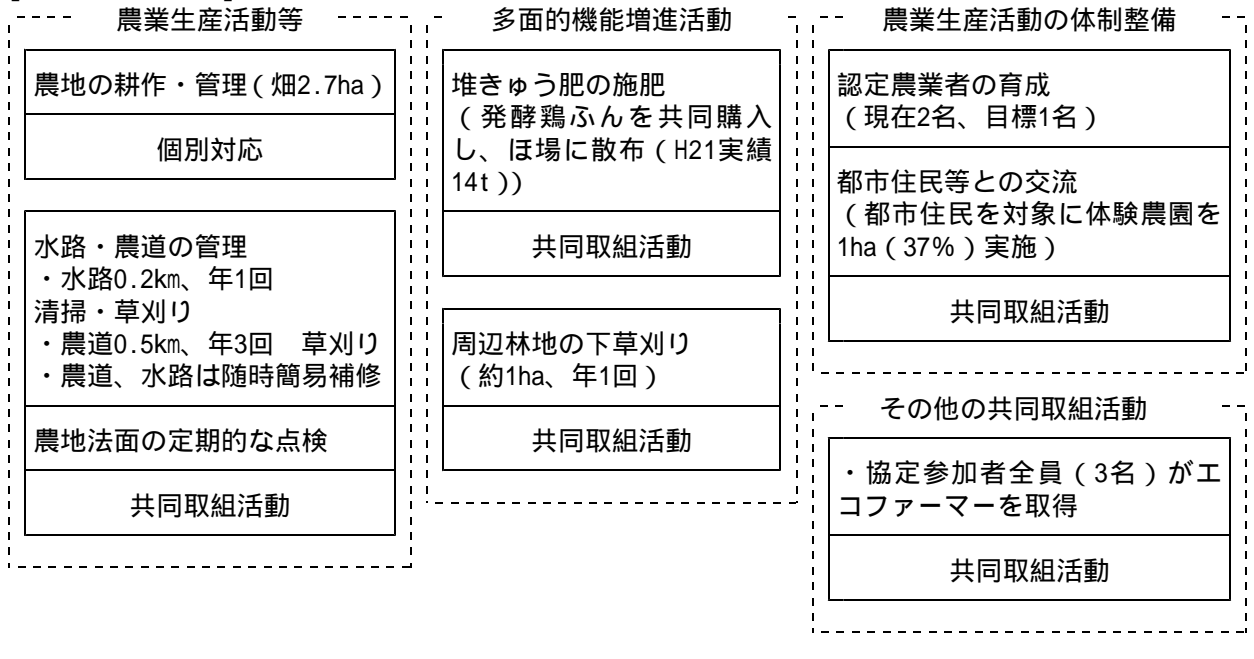
認定農業者等の担い手の育成を目指すとともに、エコファーマーによるりんごの生産を中心とすることで、安全・安心な農産物による農業の振興を図る。また、農業体験民宿を開業することで、首都圏及び関西圏の都市住民との交流を展開し、併せて中山間地域農業の大切さもPRしていくとしている。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

協定農用地の管理及び認定農業者の育成  
多面的機能増進のためエコファーマーの取得  
農家民宿を開業し、都市と農村の交流を図る

[ 活 動 内 容 ]



集落外との連携

青森黒房すぐりの会に参加し、青森市特産の黒房すぐり(カシス)を園地等に植栽

4. 取組による変化と今後の課題等

当制度により、急斜面の農道に砂利を敷設することができ、今まで機械が入れなかったところに機械を入れられるようになり、りんごの防除が非常に楽になった。

今後は、体験農場内に農業体験施設を導入し、他県からの中高生に農産物加工等の体験をさせたいと考えている。

一方、協定参加者が3名と少ないことから、集落内の協定に参加していない農家から当制度について理解を得られるよう取り組み、参加者の増加に繋げたい。

[ 平成21年度までの主な成果 ]

担い手の確保のため、認定農業者の育成 (当初0名、目標1名、H21実績2名)  
都市住民等との交流  
・農業体験民宿を開業し、他県の中高生を受け入れ  
(受け入れ実績: H19・4校12名、H20・4校18名、H21・4校20名)  
・体験農園の整備・実施 (当初0ha、目標15a、H21実績1ha)